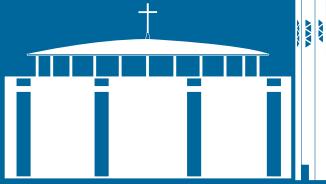


5月



カトリック麹町教会

MAGIS

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに ～希望に錨を下ろして～



私は、1945年2月25日ミズーリ州セントルイスで生まれました。4歳上に兄が、3歳下に弟がいます。私の1年後に生まれた妹は長く生きられず、母に女同士の話ができる娘がいなかったことをいつも悲しく思っています。

家族の物語と日本でのミッション

協力司祭 ジェリー・クスモノ

私の母方と父方の祖父母は、イタリアのシチリア島パレルモからアメリカへ移住しました。上智大学でのサバティカル(長期休暇)中にパレルモを訪れ、「Cusumano」という名前の家を見つけました。しかし、私はイタリア語を話せなかったため、自分の生い立ちを英語で説明するのは難しいと感じ、その家のドアをノックすることはしませんでした。

私は、1945年2月25日ミズーリ州セントルイスで生まれました。4歳上に兄が、3歳下に弟がいます。私の1年後に生まれた妹は長く生きられず、母に女同士の話ができる娘がいなかったことをいつも悲しく思っています。

た。父は9人兄弟の長男で、高校卒業前に家族を養うために中退しました。17歳でUnion Electric Companyに就職し、65歳で定年を迎えるまで働き続けました。初仕事は使用済み電球のフィラメント交換で、当時は電球を使い捨てず再利用していたそうです。父は信頼され勤勉だったので、着実に昇進を重ね、晩年は車で変電所を巡る業務に携わりました。

し、私が修練期に入っていた頃、母は乳がんを診断され、余命4年と宣告されました。兄は結婚して家を出ていたため、父と弟が2人で困難に立ち向かわなくてはなりませんでした。家族にとつて、とても辛い時期でした。

修練期を終えるとともに、日本への派遣が決まりました。修練期間中から日本行きをずっと希望していました。当時、日本がミズーリ管区の宣教地ではありませんでした。数年後、国際宣教地となり管区長からの任命で日本行きがようやく実現しました。

鎌倉では語学学校で日本語を学び、勉強の合間に寺院や神社を訪れる楽しい機会もありました。語学学校を修了し、上石神井に移り哲学を学びました。その後の中間期の2年間は栄光学園で英語を教え、バスケットボール部のコーチも務めました。栄光での練習時間が週2回しかなく、毎日、あるいは一日2回も練習をする学校がある中、試合にはよく負けていました。

神学を学ぶために上石神井に戻り、1976年12月4

日に聖イグナチオ教会で司祭に叙階されました。再び栄光学園で5年を過ごし、その後、留学先でカウンセリング心理学を学びました。アリゾナ州立大学で博士号を取得して、上智大学の心理学科で教鞭を執り、カウンセリングセンターやカトリックセンターの所長も務めました。定年後、神学の知識を深めるサバティカルを経て、イエズス会神学院で5年間常駐司祭として仕えました。

この度、管区長より聖イグナチオ教会の活動を手伝うようにとSJハウスに派遣されました。管理職務から解放され、司牧活動に専念できることに心から感謝しています。

YOROSHIKU ONEGAI

SHIMASU!

教会報 MAGIS 5月号

† 四旬節黙想会	P2～3
† 教会行事 ～聖週間～	P3
† 教皇フランシスコ逝去	P4～5
† 2025年度信徒評議員	P6
† ご帰天 ドナル・ドイル神父	P7

【5月の共同祈願】

新受洗者と共に祈ります。

神様の子となり新しいいのちをいただいた喜びを

皆が感じられますように。

それぞれの言葉で復活節を過ごす私たちが

一步一步、キリストの弟子として歩めますように。

【ミッション 2030 -前文-】

私たち聖イグナチオ教会は、
祈りに基づく使徒的共同体を生きていきます。
現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、
環境破壊など、未来に希望を見出しにくい
反福音的なものに脅かされています。
それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、
いつくしみの扉を開いていきます。
私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、
貧しい人や弱い人の声を聴き、
皆でともに手をたずさえて(日本人も外国人も、老いも若きも)、
福音の喜びを分かち合っていく使命を生きていきます。

四旬節黙想会

エコロジカルな回心

日本カトリック司教協議会「ラウダート・シ」デスク秘書

瀬本正之神父（イエズス会）

3月20日（木・祝日）10時より主聖堂にて、瀬本正之神父の指導による四旬節黙想会が開催されました。教皇フランシスコは回勅『ラウダート・シ』ともに暮らす家を大切に『で、すべての被造物はつながっているがために、互いの調和の内に生きていく道を探ることの重要性を指摘され、「エコロジカルな回心」を提唱されています。2つの講話の後に黙想（各約20分）の時をもち、12時からミサが行われました。

*参考資料はYouTube 配信の概要欄よりダウンロードできます

第一講話
エコロジカルな回心とは？

「エコロジカルな回心には恵みが働きます。すべての人を救いへ導き、成長させ続ける信仰を通していただく恵



みに私たちは心を向けてきました。教皇フランシスコの指導のもと、シノドスの歩みを通して、聖霊の導きにも敏感になるよう心がけてきました。私たちは救いの恵みの働きを実感せずに、喜ばしい生活を続けることは難しいです。では、救いの恵みはどんな形で現れるのでしょうか。罪深さや至らなさへの気づき、背中を押す力や招き。神の憐れみなしでは生きていけないことを深く思い知らされる体験も恵みの働きの一つでしょう。恵みの働きに心を開いて委ね、成長していくような祈り合いしましょう」

エコロジカルな回心は

①「神がわたしたち男女に「託された」「世界」と「人間の生」を「守り改善」しようとする「努力」などを牽引する恵みの働き

↓努力する取り組みを引き出してくれるのは神の恵み。地球規模の環境問題に取り組みたいという気持ちの後押しする働きとして感じられる

②「環境への関心を嘲笑したり、「自分の習慣を変えよう」としない」「心からの回心」と「神の作品の保護者たれ、との召命を生き」させてくれる恵みの働き

↓神の作品である世界と宇宙の保護者であることは召命である

③「過ち、罪、落ち度、失敗に気づき、心からの悔い改めと変わりたいという強い望みへと導き」、「被造物との和解を果た」させる恵みの働き

↓神の方からイエスを与えてくださり、神と人間が和解しやすい条件を整えてくださった。すべての被造物と和解し、ふさわしい関係を立て直したい

④「永続的な変化をもたら

すために必要な「共同体の回心」でもあり、「消費主義や功利主義的な考え方を避ける力と自由とを」保たせ強めてくれる恵みの働き

↓共同体として求められている回心は、噂や悪口から離れ、自然との関わり方から得るヒント、ミサや祈りでいただいた力を持って被造物と交わる

⑤「私たちは他の被造物から切り離されているのではなく、他のものとともにいくまされることを、愛をもって自覚」させ、「神から授かった能力を伸ばすことを通して世界の諸問題を解決」させてくれる恵みの働き

⑥「被造物が神のメッセージを有していると気づき」、「アツシジの聖フランシスコが輝かしく体現した、高潔な兄弟愛」をはぐくんでくれる恵みの働き

第二講話
インテグラルエコロジーとは？

「『エコロジー』とは命がふさわしく生き、活動するための条件のことです。人間もふさわしい社会や文化を形成し、ふさわしく歴史を歩まなければ自然界はよくな

らないと身をもって体験してきています。インテグラルとは、命の世界をふさわしく保つために必要な環境条件が、すべての面で整えられているビジョンを指しています。私たちは神さまとの、人間との、自然との健やかな関係の実現を努めるよううながされています。それは自分との仲直りを実現する旅でもあります。あらゆる現実が平和に向かって進んでいる、そうでないと落ち着かない心の在り方を恵みとしていただいています。被造物が神に従って生かされる時、時には戻りながらも歴史の完成の時に向かって歩む感情がわかる恵みもいただいています。お互いに助け合い、制度を変える努力をしながら歩んでいく必要があります」

インテグラルエコロジーとは

①傷つきやすいものを気遣い、被造物、貧しい人や見捨てられた人を思いやり、喜びと献身と開かれた心で愛に生き、アッシジの聖フランシスコを模範とする生き方

②数学や生物学の言語では言い表せない領域を開き、私たち人間であることへの核

心と、他の被造物すべてを創造主への賛美へと連れていく道しるべ

③支配者、消費者、搾取者の態度と決別し、貧しさと簡素さを自らの行動を決定づける選択の証しとする世界に対する応答

④科学と宗教がそれぞれに独自のアプローチで現実を理解しつつ、中身の濃い対話に入ることを可能にする信仰者たちの確信

⑤神の道具となつて、被造物を守るばかりでなく、より実り豊かになるための労働の価値を認めつつ発展させる、被造物のケアの最良の道

⑥個人の利益のための視点だけで現実を眺めず、この世界を後続世代にも属するものとし、世代間で連帯する広範な展望

⑦多忙さを感じさせる深刻な不安定さのただ中で、被造物との調和の回復に時間をかけ、創造主を観想するよう即す心の平安の保全・強化

⑧消費の肥大化でいのちが虐げられる世界にあって暴力や搾取と決別し、平和と友情を示す愛の小さき道の実践

教会行事 聖週間

今年度も大勢の信徒が主聖堂に集まり、喜びのうちに主のご復活をお祝いしました。＊はオンライン配信あり

十 受難の主日(枝の主日)

4月13日(日)7時、8時半、10時＊、18時から10時ミサ 主司式・サトルノ・オチョア神父

十 聖木曜日

主の晩餐の夕べのミサ
4月17日(木)19時＊
主司式・佐久間 勤神父

十 聖金曜日

主の受難の祭儀
4月18日(金)19時＊
主司式・柴田 潔神父

十 聖土曜日

復活の聖なる徹夜祭

4月19日(土)19時＊
主司式・高祖 敏明神父

十 復活の主日

4月20日(日)10時＊
主司式・高祖 敏明神父
ミサの中で、高祖神父は話されました。「今日のご復活ミサの願いは、集会祈願の中に集約されています。『主イエスの復活を記念し、この神秘にあずかるわたしたちを、あなたの霊によって新たにし、永遠のいのちに復活させてください』今、大阪で開催されている万国博覧会のテーマ『いのち輝く未来社会のデザイン』は、私たちの信仰からすると主イエスの死と復活の神秘にあずかる永遠のいのちこそが『輝く

いのち』で、それと聖霊に満たされて生きる社会こそが『未来社会』を描き出すデザインなのではないでしょうか。

現聖堂献堂以前から『新教会建設のための祈り』をミサの時に唱えていました。『ミッション2030』および25周年の記念行事を担ってきた委員会の皆さまが、教会全体で祈るために新たに次のような祈り(左参照)を作りました。今後ご一緒に祈りたいと思います」

4月19日(土)復活の聖なる徹夜祭の中と4月20日(日)の15時半から主聖堂で洗礼式が行われました。洗礼を受けられた60名の皆さま、おめでとうございます。アレルヤ！

ともに歩む教会の祈り

父なる神よ
あなたは慈しみの御心から
御子をこの世につかわし
救いのめぐみを与えるため
ここに聖イグナチオ教会を育まれました
わたしたちはこの教会が
あなたの御心に適うものとなるよう
心を一つにして祈ります
道行く人々が
聖堂を仰ぎ見て
心の安らぎと神への招きを感ぜようように
聖堂で祈る人々が
御父の愛に包まれ
救い主に出会えますように
キリストの食卓を囲むわたしたちが
インターナショナルな一つの共同体として
祈りと賛美を捧げ
「光と塩」となって
社会に仕えることができますように
あなたの祝福がすべての人々に
今もいつも豊かにそそがれますように
わたしたちの主イエス・キリストによって
アーメン

フランシスコ逝去



希望の巡礼者―教皇フランシスコへの感謝と祈り

主任司祭 高祖 敏明

教皇フランシスコが主イエスのご復活の祭日を祝った翌日（4月21日）、天に召されました。私たちは深い悲しみに包まれています。それにも増して感謝の想いでいっぱいです。

教皇は、「貧しい人びとの友」「ブラザー・サン、シスター・ムーンと呼びかけ大自然の友」となって主イエスの福音を生き、アッシジのフランシスコの名を名乗りました。

その名のとおり教皇は社会の片隅におかれた地域や人びとに心を寄せ、地球を「私たちの家」と呼んで、深刻さを増す環境の悪化と私たちの生き方の問題にも光を当てられました。

日本の教会への関心も高く、とりわけ2019年11月に来日された折には、長崎と広島と公園から世界に向けて平和の問題、特に核兵器の使用はもちろん、その製造と保有さえも倫理的な犯罪であると訴えられました。

また、司祭が一人もない中で250年以上も信仰を維持し、語り伝えてきたキリシタンの歴史にも心を寄せられ、現代世界にあつて信仰のために迫害を受けている人々にも心を向けられました。昨年11月30日の朝、私が代表の「禁教期のキリシタン研究会」巡礼団はヴァチカンにて特別謁見の機会に恵まれました。今もありがたい、いい思い出です。

司牧者フランシスコ教皇は2025年の聖年（ヨベルの年）のモットーを「希望の巡礼者」と定められました。「希望は欺かない」（ローマ書5章5節）との聖書の言葉を示して、特に苦しい境遇のもとで生きる大勢の兄弟姉妹に、「希望をもって将来を見ることが」との重要性を教えられました。教皇ご自身が最後までそのようなように生きられたと、思われてなりません。

ここに教皇フランシスコに心より感謝をお捧げし、天の国の「善い牧者」主イエスのもとで、安らかに憩われますようお祈りするものです。

皆様のお祈りもお願いいたします。

2025年4月24日



教皇と
ワールド
ユースデー



2016年 クラウフ大会



2013年3月13日
第266代教皇に選出



2023年リスボン大会



2019年 パナマ大会





教皇フ

教皇フランシスコ追悼ミサ

5月3日(土・祝)12時主聖堂で執り行われました。晴天にも恵まれ、聖堂を埋め尽くす大勢の参列者がありました。(YouTubeで動画配信中)。

主司式は佐久間神父(イエズス会日本管区長)で、サリ・アガステイン神父(学校法人上智学院理事長)、高祖 敏明神父(当教会主任司祭)、柴田 潔神父(同 助任司祭)、ホアン・アイダル神父(上智大学神学部教授)の共同司式で行われました。

冒頭、佐久間神父が祭壇上の教皇の遺影に灌水と献香をされ、その後の説教で教皇の教え子アイダル神父が話されました。「教皇フランシスコは、真に福音を信じた人でした。神のよろい(忍耐、優しさ、特に教皇が好きだった慈しみや祈り)を身にまとい、イエスの弟子として生きること、私たちに希望を与えてくださいました。」

また、教皇はイエスがそうであったように、人を大事にされました。最も大切なのは人だからです。誰に対しても開放的で、そのために危険や批判、傷を負い裏切られましたが、人を助け続けました。

そして早朝5時に祈り、識別し、聖霊に従って方針を決めていたそうです。今後は私たちが天国にいる教皇のために祈りましょう。

最後に佐久間神父は「フランシスコ教皇に感謝の気持ちを持って集まった私たちが、希望の巡礼者として歩めますように。天の国に上げられた教皇が、これから私たちを温かく見守り、励ましてくださいますように」と締めくくられました。

教皇フランシスコ (ホルヘ・マリオ・ベルゴリオ)

略歴

1936年12月17日	アルゼンチン・ブエノスアイレス生まれ
1958年 3月11日	イエズス会入会
1969年12月13日	司祭叙階
1973年 7月31日	イエズス会アルゼンチン管区長
1992年 6月27日	ブエノスアイレス司教叙階
1998年 2月28日	ブエノスアイレス大司教着座
2001年 2月21日	枢機卿叙任
2013年 3月13日	第266代 教皇に選出される フランシスコを名乗る 初めての南米出身の教皇 初めてのイエズス会出身の教皇
2025年 4月21日	帰天



2020年3月27日
無人のサンピエトロ
広場でパンデミックの
終息を願い祈る教皇



2025年4月21日 帰天
イタリア・ローマ
サンタ・マリア・マッジョーレ
大聖堂に埋葬

2016年
いつくしみの
特別聖年

聖年



2025年
「希望の巡礼者」
「聖なる扉」
を開く



2019 年来日の
思い出



2025年度信徒代表挨拶

鈴木 靖規

最近見たキャッチコピーに「君はきっと誰かの太陽」というものがあります。一人ひとり太陽だと思いに共感しました。自分の持ち味を生かせば、誰かのためになっているのです。自信を持って生きていきましょう。

私たちの教会は多国籍です。ミサは日本語、英語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、ポランド語と、7つの言語で行われています。ミサの雰囲気もそれぞれ異なり、その国の理解が深まります。国際色豊かな教会にしてみたいと思います。

私の体験として「教会はおいしいところ」と感じています。小学生の時に初聖体を受けましたが、その祝いパーティーがおいしかったのです。もちろん、出されたものが良かったのですが、その会場の雰囲気やお世話してくださった方々の温かさに触れて、そう思ったのです。いくらおいしい食事でも、その場が冷たく、びくびくするところであつたら、どんな印象になったでしょう。この麹町教会に集う人々が、笑顔にあふれ、イエス様とともに歩み、「希望に満ちたおいしいところ」にいたしましょう。



▲ 2025年度宣教司牧評議会

今年一年、どうぞよろしくお願ひいたします。

新信徒評議員挨拶

鹿毛 ゆかり

教会学校父母会を経て、聖堂係とメリエンダ（トルテリア担当）でご奉仕しています。微力ではありますが、皆さまと共に心を尽くして務めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

グエン・ティエン・ロン

長く日本に住んでおりませんが、日本語はまだ十分とはいえません。微力ではございますが皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

中島 雅子

メリエンダのトルテリアで奉仕させていただいております。皆さまとのご縁を大切に、祈りと感謝の心で、微力ながらお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

辺見 京一

信徒評議員として働ける機会に感謝します。まだまだ漠然とした不安があります

(50音順)

が、教会、司祭さま方、信徒の方、そして将来に教会へつなげる方のために、お仕えしたいと思います。

茂木 徹

毎週ウェルカムテーブルで活動してきました。この度、思いがけない大任をいただき目がくらむ思いですが、教会を心が通い合った共同体に出来るように頑張ります。よろしくお願ひします。

ヤーネス 聖子

聖年に評議員を仰せつかり身が引き締まる思いです。聖年の恵みと共に祝福に満ちた希望を持って聖イグナチオ教会のために、皆さまとともに祈り、歩んでいきたいと思っています。

渡瀬 智彦

この度、新信徒評議員を拝命いたしました渡瀬と申します。こどもの頃からお世話になった聖イグナチオ教会に少しでも恩返しができるよう努めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

2025年度信徒評議員役割分担

(順不同)

信徒代表 鈴木靖規

副代表 片岡敏晃・柳元美樹子

書記 並木千登世・橋本真和

会計 並木千登世・中島雅子

総務 網田サウイマラエ・橋本真和・柳元美樹子

鹿毛ゆかり・辺見京一・茂木徹

中長期計画策定準備委員会 片岡敏晃

役割分担(ミッション2030・4つの柱を軸に)

〈祈りを深める〉

・典礼 片岡敏晃・網田サウイマラエ・鹿毛ゆかり・渡瀬智彦

〈福音を伝える〉

・教会報 ガスレイモンド・柳元美樹子・グエンティエンロン・茂木徹

・広報 ガスレイモンド・鈴木靖規・柳元美樹子・中島雅子・茂木徹

〈共同体を生きる〉

・教会学校 橋本真和・渡瀬智彦

・国際 ガスレイモンド・網田サウイマラエ・並木千登世・ヤーネス聖子・グエンティエンロン

・活動グループ 片岡敏晃・鈴木靖規・柳元美樹子・中島雅子・茂木徹・ヤーネス聖子

・信徒交流 片岡敏晃・辺見京一

・福祉関連 柳元美樹子・辺見京一

・講座 ガスレイモンド・並木千登世・辺見京一・中島雅子

・教会奉仕 柳元美樹子・中島雅子・グエンティエンロン

・宣教と祈り 橋本真和・渡瀬智彦・鹿毛ゆかり

・行事 鈴木靖規・並木千登世・橋本真和・ヤーネス聖子・辺見京一

・新しい協働を進める

・宣教協力体 ガスレイモンド・鈴木靖規・橋本真和・渡瀬智彦・鹿毛ゆかり・ヤーネス聖子

●宣教司牧評議会からのお知らせ●

(5月1日開催)

1. 教会の地下駐車場は、特別に認められた場合を除き、原則、個人的な利用はできません。お近くのコインパーキングをご利用ください。
2. 「パントリーを使用する皆さまへのお願い」が承認されました。使用希望日の1週間前までに事務室で予約をしてください。予約確定後、グループ間の情報共有のために、パントリー内の「使用希望日記入表」にグループ名をご記入ください。また、片付け・清掃については「使用チェックシート」8項目を行ってください。衛生・安全・環境に配慮した項目です。私たちの家、教会の施設をお互いが気持ちよく使えるように、ご協力をお願いいたします。
3. 「アルペ神父の列聖を祈る会」から活動グループとしての申請があり、承認されました。今後の活動のためにお祈りください。
4. 4月27日(日)10時のミサの中で22名が初聖体にあずかりました。おめでとうございます。ミサ後はヨセフホールでお祝い会が開かれ、喜びを分かち合いました。
5. 6月15日(日)10時より、堅信式がアンドレア・レンボ司教の司式で行われます。

●「聖年」オンライン講座開講のお知らせ●

テマ:「聖年とみことば」

講師:当教会司祭とシスター

開催期間:2025年4月～2026年1月

開催形態:YouTube 配信

開催概要:全9回(8月休講)、毎月中旬配信

配信済み

・初回:4月19日(土)

講師:高祖敏明神父

テーマ:「行って、あなたも同じようにしなさい」

・第2回:5月17日(金)

講師:ハビエル・ガラダ神父

テーマ:「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」



●2025年度 年次活動報告会●

日時: 6月14日(土) 13:00～14:30

場所: ヨセフホール(先着順)

〈プログラム〉

*高祖敏明主任司祭の挨拶

*助任司祭方の挨拶

*教会活動の報告

2024年度活動報告・2025年度活動計画・会計報告

- ・日本語、英語、スペイン語、ベトナム語のレジュメを用意します。
- ・YouTube 配信を予定しています。
- ・事前のお問い合わせは信徒評議員まで。
- ・私たちの教会について知る機会です。ぜひご参加ください。

●日本赤十字社による献血のお知らせ●

開催日: 6月22日(日)

受付時間: 10:00～10:30、12:00～16:30

場所: ヨセフホール

献血の条件などの詳細については、チラシ・ポスターをご覧ください。

●幼児洗礼式●

7歳未満のお子様を対象とした幼児洗礼式を行います。事前の準備会があります。詳細は教会事務室にお問い合わせください。

7月20日(日) 10月19日(日) 10時ミサにて

●財務報告●

- ・4月18日(聖金曜日)の聖地のための献金356,090円は、ローマ教皇庁に送られ、聖地の巡礼所や聖堂の維持管理などに使われます。
- ・「四旬節愛の献金」801,857円はカリタス・ジャパンを通して日本・海外の多くの人々のいのちを守るために使われます。
- ・3月に発生したミャンマー大地震の救援募金1,012,891円は、東京教区へ50万円、残金をイエズス会へ送り、双方からミャンマーへ送金されます。今後の募金はカリタス・ジャパンへお願いいたします。

●アン・ベトセンターから●

ベトナム共同体の活動を支援している「アン・ベトセンター」にベトナムからシスター デイン・グエン・ゴック・トゥエンが着任されました。よろしくをお願いいたします。

●エンジェルズメンバー募集●

エンジェルズは毎月第1日曜日、12時の英語ミサに来る子どもたち(6歳～12歳)にザビエル聖堂で、日本語と英語でお祈りや歌、聖書のお話をする活動を行っています。現在、新メンバーを募集中です。日本語しか話せなくても大歓迎です。興味のある方は、イングリッシュセンター(03-3263-4576)にお問い合わせいただくか、活動日に見学にいらしてください。

訃報(R.I.P.) ドナル・ドイル神父

5月6日(火)帰天されました。93歳。通夜は5月12日(月)、葬儀は5月13日(火)、聖イグナチオ教会で執り行われました。ドイル神父様は叙階後、広島学院、上智大学で教えられたほか、イエズス会神学院院長を務められ、聖イグナチオ教会ではミサ、告解をはじめ司牧活動など霊的指導をされました。

略歴

1931年10月11日 アイルランドのダブリンに生まれる
 1951年9月7日 イエズス会入会(アイルランド管区)
 1958年9月3日 来日
 1960年～1962年 栄光学園(横須賀)で英語を教える
 1965年7月29日 司祭叙階(アイルランド)
 1968年～1977年 広島学院で英語を教える
 1972年～1977年 広島学院理事長
 1977年～1981年 神学院院長(上石神井・東京)
 1977年～2002年 上智大学で英語を教える
 2001年～2020年 SJハウス院長補佐
 2002年～2012年 上智コミュニティ・カレッジでアイルランド文学を教える
 2008年～2016年 ソフィア会副会長
 2024年6月～ ロヨラハウス
 2025年5月6日 帰天(ロヨラハウス)



6 月の典礼と行事

最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

1 (日) 主の昇天の祭日	堅信準備会③ 11:15
4 (水)	堅信準備会 (平日③) 18:45 『社会問題とカトリック教会の考え 2025年度連続セミナー』 18:30 ヨセフホール シノドスの教会 - 誰も排除されない、誰とも共に歩む教会を目指して - 小教区における若い人々のシノダルの参加について - 若い人の声を聴こう - 講師：中井美帆氏 (カテキスタ、イラストレーター)
6 (金) 初金曜日	祈りの集い 19:00 現聖堂献堂記念日 (26周年)
8 (日) 聖霊降臨の主日	教会案内ツアー ① 10:30 ② 11:00 受付 9:30 ~ 堅信準備会④ 11:15
11 (水)	堅信準備会 (平日④) 18:45 傾聴ルーム 11:15 ~ 15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
14 (土)	年次報告会 13:00 ヨセフホール
15 (日) 三位一体の主日	堅信式 10:00
18 (水)	クリプタに安置され 6 月に命を迎える方々のためのミサ 12:00
21 (土)	新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 13:00 ヨセフホール
22 (日) キリストの聖体の祭日	
24 (火) 洗礼者聖ヨハネの誕生の祭日	
25 (水)	傾聴ルーム 11:15 ~ 15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
26 (木)	ヤングオールド映画会 「この子を残して」 13:00 ヨセフホール
27 (金) イエスのみ心の祭日	
29 (日) 聖ペトロ聖パウロ使徒の祭日	新受洗者と転入者のためのオリエンテーション 11:15 ヨセフホール 聖ペトロ使徒座への献金

* マジス 6 月号は 6 月 15 日 (日) 発行予定です。

主任司祭：高祖 敏明

 助任司祭：ボニー・ジェームス
グエン・タン・ニャー
サトルニノ・オチョア
柴田 潔

 協力司祭：ジェリー・クスマノ
ハビエル・ガラルダ
グエン・ヴァン・テー
関根 悦雄
マヌエル・シルゴ

 神 学 生：アントニオ・マリオ・ダ・
コスタ・ソアレス

 シスター：マルセラ・ロサス
フロール・フロレーセ
ジェスリン・ブエンディア
デイン・グエン・ゴック・
トウエン

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel
7:00/12:00/18:00
 【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel
土曜 18:00/19:30 (Việt Nam)
日曜 7:00/8:30/10:00/18:00
12:00 (English) / 13:30 (Español) /
15:00 (Việt Nam)

 【月の第 1 日曜日 1st Sunday】
Our Lady's Chapel

12:30 (Português) / 16:00 (Polski)

 【月の第 2 第 4 日曜日 2nd & 4th Sunday】
Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

* 本文中の役職名等は、寄稿もしくは取材時のものです。

カトリック麹町教会
(聖イグナチオ教会)

〒102 - 0083

千代田区麹町 6 - 5 - 1

TEL 03 - 3263 - 4584

FAX 03 - 3263 - 4585

<http://www.ignatius.gr.jp>
 Linktree (リンクツリー)
リンクツリー (linktree) とは多
数のリンクをまとめて表示して
いるツールのことです。この QR
コードを読み取ると教会ホーム
ページ、教会ガイド、Twitter、
Facebook、Instagram、
YouTube へアクセスできます。